

国民は「改憲」を望んでいません 憲法変えるな 政治を変えよう!

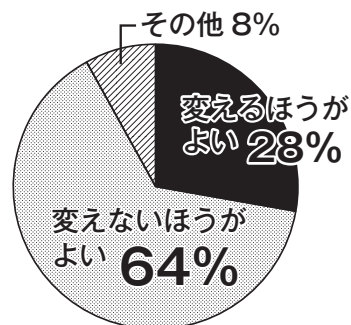
5月3日、全国各地で「憲法を守り生かそう」と集会が行われました。東京・有明防災公園に65000人、大阪20000人、兵庫9000人、京都3300人など、過去最高規模で市民が集まり、声を上げました。

一方、安倍首相は今年も改憲派の集会にメッセージを送り、「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい…今もその気持ちに変わりはありません」と、改憲への執念をあらためて示しました。

しかし、どの世論調査を見ても、国民は「改憲」を望んでいません。「朝日新聞(5月3日)」では、「9条は変えない方がよい」が64%で、「変える方がよい」28%を大きく上回りました。

憲法を変えてはなりません。変えるべきは、憲法を守らない政治ではないでしょうか。

9条改憲について



5月3日付朝日新聞世論調査(2019年3月上旬~4月中旬)より作成



未来を決めるのは私たち 選挙で国民の声を示そう

そもそも、憲法は、国民のいのちと権利を守るために、権力者の手を縛るもの。憲法99条で、憲法を尊重し守らなければならないと定められている大臣や国会議員が「改憲」をあおり立てることは、それ自体が憲法違反です。

政治を私物化する安倍政権に、憲法まで私物化させてはなりません。「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)が全国に広がり、「市民と野党の共同」が「安倍改憲」を止めています。

「戦争を起こしてはならない、子どもたちに平和な未来を手渡したい」という国民の思いを示しましょう。参議院選挙はそのチャンスです。

「自衛隊を9条に書くだけで何も変わらない」? いいえ、大きく変わります。9条が破壊されます

自民党改憲案は、「憲法9条2項」の後に「前項の規定は・・・必要な自衛の措置をとることを妨げず」と書き加えて9条を無効にしたうえで、「自衛隊」を明記し憲法で認めるものです。

これまで、「戦争放棄」「戦力の不保持」「交戦権の否認」を定めた憲法9条が歯止めになり、海外派兵や攻撃型兵器の保有が制限されてきました。9条を壊して、その歯止めをなくし、政府が自衛隊の行動を無制限に拡大できるようにすることが、「改憲」の狙いです。

自衛隊員を海外の戦場に送って、よいのでしょうか?

日本を「戦争する国」にして、よいのでしょうか?

今以上に、アメリカ兵器を「税金で爆買い」する国にしてよいのでしょうか?